

2025 年度レンカ区・富山市都市間連携セミナー

10 月 2 日、富山市とレンカ区が取り組む脱炭素社会の実現に向けた都市間連携事業に関するセミナー「カーボンニュートラル実現のための技術、持続可能な投資、資金調達」が開催されました。



2025 年度都市間連携セミナー

レンカ区は国連の気候変動緩和キャンペーン「Race to Zero」への参加をはじめカーボンニュートラルに向け積極的に取り組む都市であり、また、富山市は SDGs 未来都市として日本の取組を牽引するモデル都市です。両都市は、2019 年に締結した協力協定を契機に、レンカ区が抱える課題に富山市の SDGs 未来都市計画の知見及び経験を通じて貢献することを目的として都市間連携事業を開始しました。

2024 年 2 月には、同連携プログラムの一環として進められた JCM を活用した太陽光発電プロジェクトが完工しました。現在は、物流分野における EV 導入、廃棄物処理分野の協力、自治体向け SDGs 取組状況の診断・可視化ツール「TSUMUGI@」の展開等の可能性が検討されている等、2 人の「OECD Champion mayors」の指導の下で、脱炭素社会の実現に向けた取組が着実に進展しています。また、この連携に関連して、2024 年 6 月には伊藤チリ大使が富山市を訪問、同年 8 月には伊藤環境大臣（当時）がレンカ区を訪問、2025 年 1 月にはカストロ・レンカ区長が富山市を訪問、毎年富山市職員によるレンカ区訪問も継続するなど、両国の交流関係が一層深化しております。



主賓挨拶（カストロ区長、伊藤大使、藤井富山市長（ビデオメッセージ）

このセミナーでは、両都市のこれまでの連携の成果を振り返るとともに、民間 JCM スキームを含め今後の連携拡大の可能性についても議論が交わされました。さらに、2025 年の新たな取組として開発された、富山市の「STOP！地球温暖化すごろく」のスペイン語版が紹介されました。レンカ区では、今後この教材を同区内の小学校で活用し、持続可能な未来を実現するため環境教育を強化する方針です。



レンカ版「STOP！地球温暖化すごろく」

今回のセミナーは、富山市のチリ訪問に合わせて開催されたもので、両都市の協力関係をさらに深化させる絶好の機会となりました。両都市は、2025 年 11 月にブラジルで開催予定の COP30 に向けても連携して対応していきます。

両都市の絆は、南米における都市間連携の象徴的な成果であり、脱炭素協力にとどまらず、未来志向の両国の都市交流の道筋を示すモデルケースとなっております。今後もこの関係を継続・発展させるとともに、このような連携が両国の他の自治体にも広がり、国際的な脱炭素の輪がさらに拡大し、持続可能な未来の実現に繋がることが期待されます。